

いいだ 市議会だより

No. 179

平成 23.10.25

編集/市議会だより編集委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町 (TEL) 0265-22-4511



100
古紙配合率100%紙

第3回 定例会

- ・リニア飯田駅 新たな局面に
- ・市側に改善申し入れ(損害賠償に係る議会未提出案件)



ふるさとの秋 今年もまた実りました。
(ワーキングホリデーいいだ 座光寺)

定例会のあらまし

平成23年飯田市議会第3回定例会は、8月31日から9月30日までの31日間の日程で行われました。

今定例会では、市側から専決処分の承認等報告案件113件、条例案件7件、一般案件10件、予算案件4件、決算認定17件の計151件の議案が上程されたほか議会議案3件が上程され、原案のとおり承認・可決・認定しました。

損害賠償に係る議会未提出案件については、法令に違反したもので誠に遺憾であるとして、市に対し再発防止に向け申し入れを行い、誠意をもって対応するよう要請しました。

□目次

リニア飯田駅関連	P2
損害賠償議会未提出案件	P3
一般質問の概要	P4・5
常任委員会の審査状況	P6～9
請願陳情の審議結果	P10
議会制度検討委員会	P11
傍聴席・議員コーナー	P12

リニア飯田駅 現駅併設とならず

リニア推進対策特別委員会で協議

JR東海の考えを重く受けとめたい(牧野市長)

9月14日に開催されたリニア推進対策特別委員会において、前日に行われたJR東海とリニア建設期成同盟会正副会長との協議内容について牧野光朗市長から「飯田現駅との併設がベストとは考えるが、今後リニア飯田駅建設に向けJR東海と協議を続けていくためには、現駅併設が困難であるとするJR側の考えを重く受けとめる」との報告がなされました。

JR側から提案のあった確認事項は、「ルートにつ

いては水源域を外す」「飯田線の存続はしっかりやっていく」「リニア飯田駅は飯田線に近接させる」「現飯田駅併設は困難だが既存市街地との連携は計画段階から検討」「環境に配慮し地域の意見を十分聞き話し合っていく」「駅の負担についてはこれからしっかり考えていく」の6項目。

この報告を受けて、委員会では、「市長の気持ちは理解できる。今後、国、県とも連携しながらJR東海との協議を進めてほしい」などの意見が出されました。

9月28日の委員会では、期成同盟会正副会長による県知事との懇談などについて報告がありました。その中で、「市長が知事に対してこれまでの経緯と地域の考え方を説明し、県は当地域の思いを尊重し、協力して事業を推進していくことを確認した」との説明がありました。



(中間駅位置検討箇所)

資料:中央新幹線計画段階環境配慮書(JR東海)

リニア建設・ルート及び駅位置等に関する検討経緯

S48/11/15	中央新幹線基本計画決定
S49/9/17	中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会結成
H19/12/25	JR東海 全額自己負担による中央新幹線建設を表明
H23/2/16	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会 早期実現と飯田駅の現駅併設決議
5/12	中央新幹線小委員会諮問事項の答申 (走行方式:超電導リニア方式、ルート:南アルプスルート)
5/27	国土交通省 JR東海に対し建設指示
6/24	飯田市議会 水源域を避けたルート選定を求める決議 (7/11 県及び県議会に要望)
8/5	JR東海が県内の計画段階環境配慮書を発表 (駅設置位置:座光寺、高森町付近の天竜川右岸平地部)
8/9	飯田市議会 特別委員会で環境配慮書の確認
8/18	飯伊地区において計画段階環境配慮書の説明会
9/7	期成同盟会正副会長がJR東海と1回目の協議(意見書提出)
9/10	リニアを活かした地域づくりシンポジウム開催
9/13	期成同盟会正副会長がJR東海と2回目の協議(意見書回答)
9/14	リニア特別委員会で市長からJR東海と協議結果報告
9/20	市長が阿部知事と会談(駅位置についてJR案容認)
9/27	JR東海が環境影響評価方法書の公表
9/28	リニア特別委員会

リニア推進対策特別委員会

(9月14日、28日他開催)

現飯田駅併設は
断念するか

■委員会の内容・質疑

9月28日委員会

リニア飯田駅について

Q 報道では、市長が現駅併設を断念したとの情報が流れている。真意はどうか。

A 2回のJR東海との協議を経て、JR東海の考えを真摯に受けとめると説明した。地域として現駅併設の考えに至った経緯を踏まえ、まちづくりの考え方は踏襲していくというものであり、改めて、郡市民に対して今後の方性、取り組みについて示していきたい。

Q 一部に、駅は座光寺に決定したかのような報道があるが事実か。

A 計画段階環境配慮書で示された3km幅や5km円の中で、これから具体的な協議がなされる。現在は、具体的な駅位置の地名が挙がる段階ではない。

議会をないがしろにするもので誠に遺憾

損害賠償に係る議会未提出案件



市における損害賠償に係る案件で、法令の規定により本来議会の議決や市長専決の後、議会への報告が必要にもかかわらず議会に提出されていないものが100件以上あることが今議会で報告されました。市議会ではこれら案件について、あらためて審査するとともに、各常任委員会において、未提出であった原因や再発防止策について協議を行いました。

その結果、今回の事案は市民の代表たる議会をないがしろにし、地方自治法に違反したものであり、誠に遺憾であるとして、議会側でも再発防止策を検討し、今後の再発防止に取り組むよう議長から市長に対し申し入れを行いました。【市は地方自治法及び条例の規定により損害賠償額が1件30万円を超えるものを議決事項に、同30万円以内を市の専決事項として、それぞれ議会に上程、報告を義務付けられている。(水道事業の議決事項は50万円以上、病院事業は100万円を超えるものとされ、それぞれ専決事項の定めはない。)】

申入書の内容

今回の事案は、市民代表である議会の権限に対する認識が極めて不十分なために、議会をないがしろにし、地方自治法に違反したものであり、誠に遺憾である。平成17年度以前にも法令に違反していた可能性もあり、地方分権・地域主権の担い手である執行機関側の資質に重大な疑念を抱かざるを得ない。

飯田市議会としては、今後このようなことがないよう強く申し入れるとともに、下記のとおり議会としての意見を付すので、誠意を持って検討のうえ、10月中に考え方を示すよう要請する。

記

1. コンプライアンス重視は掛け声だけで実践が伴っていない。法令順守意識を全職員に具体的に徹底すること。
2. 個々の職員の認識や力量に委ねられている実態から脱却し、全職員を対象に、地方自治法を中心とした実践的な研修を実施するとともに、損害賠償に限らず、他の行政事務においても議会への必要な手続きが確実に取れるようシステム化すること。
3. 損害賠償のみならず、懸案となった事案は、適切な時期に議会へ報告し経過を説明すること。
4. 庁用自動車運転に伴う事故が頻発しており、職員に対する事故防止の徹底を図ること。

議会による行政評価・提言

市の後期基本計画の施策の展開と、22年度事務事業について、7月から9月にかけて議会による行政評価を実施しました。42の施策、855の事務事業のうち4常任委員会で160件抽出した上、42件の施策・50件の事業を検証し、提言を行いました。

各委員会による市長への主な提言の内容(詳細は市公式サイトに掲載しています。)



委員会	施策名	提言骨子
総務文教委員会	義務教育の充実	「乳幼児教育の充実」が、子どもを産み育てやすい環境の充実に包含され、施策主管課は、子育て支援課に移ったが、教育委員会として幼児教育をどう進めるかの視点を明らかにし、取り組まれない。
社会委員会	心と体の健康づくり	特定健診について、保健師の活動や人間ドックとの連携・情報共有を図り、受診率を向上されたい。
	障害者福祉の推進	増加傾向にある「発達障害」について、乳幼児期から就労に至るまでの成長過程で適切な支援の取り組みを。
産業経済委員会	新しい力による新しい産業づくり	・魅力ある企業づくりのための起業への支援の強化と企業間連携を促進されたい。 ・長姫、工業高校の統合による総合技術校としての「新校」の受け皿を考慮した施策展開を図られたい。
建設環境委員会	居住基盤の向上	皆水洗化整備完了をめどに、下水道に係る長期経営計画を示し、下水と合併処理の管理一元化を検討されたい。
	計画的な空間利用の推進	リニア時代を見据えた地域全体の発展につながる土地利用基本方針を早急に具体化されたい。

市議会では、飯田市自治基本条例に基づき市の活動を監視・評価することで適正な行政運営の確保に努めています。

一般質問

Q質問 A答弁 ■他の質問項目

今回の定例会では20名の議員が市政全般について一般質問を行いました。それぞれの議員の質問の要点と答弁の内容を紹介します。

会派のぞみ

吉川秋利【50分】 Q リニア中央新幹線について市民への説明、市民の多様な意見の反映についてはどのように考えているか。 A 現飯田駅併設にこだわらずに早く決着してはとの声もあることは承知しているが、今日までの永年のまちづくりの歴史や、わが国全体の人口減少、少子化、高齢化の進行など、国も地方も深刻な財政難に直面する中、将来をしっかりと考えていかなければならない。

■小中連携・一貫教育について ■ウッドアンドアースについて

湊 猛【40分】 Q 年間500人ペースで人口が減少しているが、若者対策について市の考えは。

A 若者定住をはじめとする、人材確保については、市政経営の基本となる持続可能な地域づくりの実現に向けて欠くことのできない重要な課題としてとらえており、長期的な人材サイクルの構築をめざし、帰ってこられる「産業づくり」、帰ってきたいと考える「人づくり」、住み続けたいと感じる「地域づくり」の3つを総合的に進めることとしている。 ■山岳エコ・ツーリズム事業について

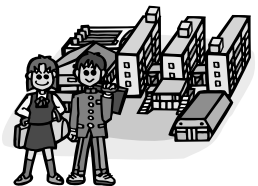
湯澤啓次【40分】 Q 21世紀型地域福祉の実現に向けて市長の描く飯田らしい地域福祉像は何か。

A 地域の中で家族と地域の絆により、支援が必要な人もそうでない人も自然に助け合い支えあって生きていける仕組みをつくること、が、「結い」の精神に根ざした飯田らしい地域福祉であると考えている。

木下克志【30分】 Q 鳥獣被害対策の被害状況はどうか。また、その対策と課題は。

A 平成22年度の農作物の被害額は6千万円、林業被害額は1億2千万円弱である。鳥獣の捕獲や防除柵等の設置等、各地区において取り組んでいるが、被害額は前年度に比べ増加した。品目では、果樹、水稻、野菜が多く、被害地域は中山間地域を中心に市内全域である。 ■農業施策(後継者対策・耕作放棄地対策)について

清水 勇【40分】 Q 飯田工業高校の跡地利用について現状はどうか。また今後の取り組みをどのように考えているか。 A 現在、飯田工業高校に隣接する同校同窓会館を部分借用して「豊橋技術科学大学飯田サテライトラボ」が設置され、南信州地域をフィールドとした調査研究活動が行われている。まずは県の方針が明らかにされること、そうした条件面の課題も踏まえて、様々な事項について検討していきたい。 ■災害対応と防災対策について



新井信一郎【40分】 Q リニア飯田駅実現について「市長は飯田駅併設の主張を収束させ、次の段階に進むべき」との県議の発言があったと聞くがどう考えるか。 A 県議の発言はともかく、私の姿勢は終始一貫している。今はJ R東海との交渉に全力で臨んでおり、協議を何としてもまとめていきたい。

■災害対策について

会派みらい

福沢 清【50分】 Q 菱田春草生誕地整備について市の現在の考え方はどうか。

A 市民の皆さんの熱い思いが原動力となった市民運動であることを尊重したい。重点取り組みとなる募金活動の具体的な協力内容については、「市民の会」の皆さんと相談させていただく。整備の方法は内容については関係するみなさんと協議する中で、市としてどのような支援ができるか考えていく。

■市の暴力団対策について ■災害時における災害弱者対策について

原 勉【50分】 Q リニア中央新幹線の国、県、J R東海との協議、交渉の経緯について、県との協議、考え方は共有できているか。また、地域住民への説明、情報公開は十分であったか。 A J R東海との協議の窓口として県がその役割を果たしており、県に対して当地域の考えを説明してきた。また、本年度市政懇談会のテーマとして、市内全地区で意見交換を行い、市民と共に地域づくりを考えてきた。「リニア将来ビジョン」については将来の地域づくりについて延べ22回にわたる熱心な議論をしていただき昨年11月に策定することができた。 ■JR東海が発表したリニア中央新幹線「計画段階環境配慮書」について

原 和世【50分】 Q 飯田市歴史研究所の運営に関して、歴史や博物館の研究展示に係る施設や機関の総合化の考えは。 A 施設統合を含んだ施設機能の総合化については、行政の役割を明確にし、行政と民間の役割の見直しと協働を推進することで、より効率的・効果的な施設管理と文化振興に向けさらに検討を深めていく。

■損害賠償の議会未提出案件について ■次期ゴミ焼却施設更新に向けた市の考え方について



森本美保子【50分】 Q 成年後見支援センターの設置について、どう考えるか。

A 成年後見制度の利用促進を図っていくことは重要な課題ととらえており、他の自治体の運営状況や、郡内の町村の考え方、みなみ信州後見支援ネットワークのみなさんの意見も聞きながら、引き続き検討していく。 ■安全対策について ■職員採用について ■環境対策について

市民パワー

清水可晴【40分】 Q 満蒙開拓平和記念館建設への支援について、建設支援の対応は。

A 当該施設は全国的に見ても多くの開拓団を送った当地域の歴史と、平和の尊さを後世に伝える意義深いものと考えているが、国策で進められて、県をあげて取り組まれた満蒙開拓の歴史的経緯から、建設への支援については、まずは国や県の確実な支援を引き出すことが重要と考える。

■脱原発・再生可能エネルギーへの転換について ■長野県新しい公共の場づくりのためのモデル事業の取り組みについて ■市民栄誉に対する表彰について

下平勝熙【40分】 Q 災害救援の市民活動憲章の検討の考えは。

A ボランティアの活動推進や運営のための指針を制定している自治体はあるが、憲章の制定までには至っていない。今後、運営指針等市民のボランティア活動を推進するうえでご提案について参考にしてまいりたい。 ■人口問題政策について ■補助金行政に関連して

木下容子【40分】 Q 小中学校における猛暑対策の今後の方向性はどうか。

A 教室への扇風機設置については現在、小中学校28校中22校が設置済みである。身体の具合が悪い児童が休息する場所である保健室には、全ての学校にエアコンを設置する方向で検討したい。 ■地域との連携で創り上げる商店街の活性化について



日本共産党

内田雄一【20分】 Q リニア中央新幹線について J R 東海などに求める必要のある情報は。

A リニア沿線で住居地区が接する場合については環境基準値以下であっても騒音対策に配慮したり、県と連携して騒音や振動についてモニタリングを実施するなど市民の快適な生活環境を守られようにする必要がある。今後、J R 東海において2~3年かけて環境アセスメントを実施することとなるが、その間に、自然環境や生活環境への影響について、住民が安心できるよう十分な説明を J R 東海に求めていく。

伊壺敏子【60分】 Q 第5期介護保険事業計画策定にあたって、介護保険料の抑制をどのように考えているか。 A 保険料抑制のため、介護給付費準備基金及び財政安定化基金の取り崩し分を抑制のために活用していく。



後藤荘一【40分】 Q 市の行財政集中改革プランは来年度以降どう進めるか。

A 行財政集中改革プランは限られた財源を有効に活用し、基本構想基本計画の目標を達成するため「飯田市行財政改革大綱」の実施計画として取り組んできた。次期の行財政集中改革プランにおいても、国県や経済の先行きが不透明な中で、持続可能な行財政運営のため、行政に求められる役割、期待や果たすべき責務を、常に最小の経費で最大の効果が上がるよう、行政自ら改革改善を継続して取り組んでいく。 ■ TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)について

公明党

林 幸次【40分】 Q がん対策の強化と市民の健康増進について「がん対策推進室」設置の検討はどうか。

A がん対策については、昨年度からの地域健康ケア計画の重点プロジェクトとして取り組んできている。保健・福祉・介護等に関係する各種計画や、他分野における施策等を効果的・効率的に行うなど、相乗効果が期待できる手法で展開することが必要と考えている。 ■次代を担う青少年育成について

村松まり子【40分】 Q 高齢者を地域で支える体制づくりについて、緊急時の迅速・適切な救急活動のため、かかりつけ医や病歴、緊急連絡先の情報等が入った「緊急医療情報キット」を配布してはどうか。

A 緊急時に高齢者の生命を守るために、高齢者の医療や連絡先に関する情報を救援者が的確に把握することができるしくみを整えておくことは必要であると思われるが、情報の更新をどうするか等の課題もあるので、今後研究を行っていきたい。

永井一英【40分】 Q まち場の中にも存在する「買い物弱者」の問題に、市はどのように対処するか。 A 飯田商工会議所が空店舗を活用した定期市と軽トラックによる移動販売を計画しており、市も実施に協力していくなど、買い物弱者については、各地区の状況や市民ニーズを把握する中で、商工団体等と連携し実情にあった対応を考えていきたい。 ■協働のまちづくりについて



無会派

牛山満智子【40分】 Q 全国で子どもや家庭を変え、育てていると聞く「子どもが作るお弁当の日」を教育委員会と校長の熱意で実現できないか。 A 家庭科の授業等により、児童生徒がお弁当を作る取り組みは行っているが、議員のご提案についても参考にさせていただき、学校の食育推進に取り組んでまいりたい。 ■飯田市の防災計画と災害対応について

委員会開催日 9月13日・14日、30日

〔審査件数 分割付託 3件、一括付託 10件、請願 1件、陳情 2件〕

主な審査案件

- 飯田市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について
- 飯田市有線テレビジョン放送施設条例及び飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 飯田市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について
- 飯田市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
- スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について
- 飯田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 南信州広域連合規約の変更について
- 平成23年度飯田市一般会計補正予算（第4号）（第5号）案
【（第4号）消防団詰所整備事業費 1,036万円、天龍峡テニスコート備品購入費 260万円 等】
- 平成22年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成22年度飯田市駐車場事業特別会計、ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について

**震災、教育関係などについて
活発な議論****審査の概要**

■平成22年度 一般会計歳入歳出決算
認定審査

総務費について

Q 防犯灯のLED化事業について低価格な他メーカーの物も出回るようになったが、市の今後の進め方は。

A 地元開発メーカー2社に製品モデルの改良、コストダウンを要望するなかで、現在のものを引き続き利用していく。

Q 東日本大震災被災者支援事業について国からどのような要請があり、どう応えてきたか。支援に対する地方への財源措置はどうであったか。

A 国からの要請は具体的には無く、県知事、市長会を通しての要請に応じた。南相馬市からの避難に係る経費は、災害救助法が適用されるが、額確定の連絡はきていない。被災地支援に係る地方交付税措置は、平成22年度の被災地への職員派遣分として426万円余が交付された。

市民バス等運行業務費について

Q 市民バスの利用率はどうか。

A 平成22年度実績では、市民バス利用29万3千人余、乗り合いタクシー利用1万9千人余、合計利用者は31万3千人余で、前年度比5.5%増となった。

教育費について

Q 小中学校施設太陽光発電導入事業は、平成22年度に新規に4校で実施し、平成23年度は2校を予定しているとのことだが、今後全校に拡大する考えは。

A 国は震災対応もあり、太陽光発電に対する予算措置が厳しくなることが予想される。高額なものなので、補助金を活用して実施していきたい。

Q 不登校児童生徒適応指導事業の効果、及び全国との比較は。

A 全国の不登校児童の割合は、小学校が0.32%、中学校が2.76%、2.74%である。また、市の不登校率は、小学校0.35%、中学校2.16%である。平成19年度と比較すると、不登校児童数は、小学校で9人、中学校で74人減少しており、事業の効果が出ている。

Q 心身障害児就学指導の状況は。

A 市の就学相談・就学判定に加え、下伊那西南部の事務委託も受けている。市分としては、平成22年度181件の就学判定を行った。

平成22年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定

Q ケーブルテレビ放送事業積立金の目的と積立額の用途は。

A 施設整備の更新を見据えて積立を行っている。積立額は、決算の状況で判断していく。

委員会管外視察を行いました。

実施日：平成23年6月28日～30日

調査項目：

- (1) 災害に強いまちづくり、地域づくりについて（神戸市・淡路市）
 - ・阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター及び北淡震災記念公園
- (2) 淡路人形芝居から伝承された郷土芸能文化について（南あわじ市）
 - ・淡路人形浄瑠璃館（重要無形民俗文化財）
 - （今田人形座、黒田人形保存会）のルーツを探る
- (3) 小中一貫教育の取り組み（丸亀市）
 - ・丸亀市の市立小中一貫教育に取り組みの現状と課題を学ぶ



地震による断層の様子を視察（淡路市）

委員会開催日 9月15日・16日〔審査件数 分割付託 2件、一括付託 8件〕

主な審査案件

- 損害賠償の額を定めることについて
- 平成23年度飯田市一般会計補正予算（第4号）案
【地域福祉計画策定事業費 498万円 居宅生活支援給付事業費 7,863万円 等】
- 平成22年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成22年度飯田市国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、介護老人保健施設事業特別会計、上村デイサービスセンター特別会計の各会計歳入歳出決算認定及び飯田市病院事業決算認定



災害時助け合いマップを 地域福祉へ活用を

審査の概要

■平成23年度一般会計補正予算（第4号）

地域福祉計画策定事業費について

Q 災害時助け合いマップが、今後民生委員に配布されると思うが、その時期や活用方法は。

A マップの配布は年度内に行うように考えている。先進事例も参考にしながら災害時のみならず平常時の活用も図っていく。

■平成22年度一般会計歳入歳出決算認定審査

障害者福祉費について

Q 地域リハビリについて市民の反応はどうか。また今後の方向性は。

A その人その人の状態に対応しており好評を得ている。作業療法士、理学療法士の配置などによる日常生活の中の生活支援をしていくとともに介護高齢課とも連携して在宅ケアを進めていく。

老人福祉費について

Q 飯田広域シルバー人材センターへの1600万円の運営補助金は少なくない金額である。シルバー人材センターの自立へ向け削減はどうか。

A 現時点での補助金の縮小は考えていない。

Q 包括支援センター運営事業に、ほり端の合同事務所の使用料が年間634万円とあるが、費用対効果はどうか。

A 事務所の使用料が月44万円のほか管理費が月8万円である。福祉事務所のあるりんご庁舎が近くにあるため、この場所を選定した。相談件数は増えている。

児童福祉費について

Q 公立保育所の民営化方針はどうか。上村保育園は園児が9名だが、若者の定住促進に取り組んでおり、子育て支援が重要と思う。この場合も民営化方針に沿って統合・分園化を検討するのか。

A 上村保育園については、合併協議の主旨を踏まえ、学校への影響も配慮する中で、当面は現状のまま様子を見る。

保健衛生費について

Q がん検診の受診率はどうか。がんの発見率は。

A 平成21年度では、乳がん検診率は県内で1位、子宮がんは2位である。要精密検査の方は、乳がんが1345人中52人、子宮がんは940人中20人であった。

■平成22年度飯田市病院事業決算認定

Q 資産の除却について、未償却残高が残っている設備もあるが、償却の考え方はどうか。

A 指摘のものは高松分院の資産であったものであり、介護老人保健施設の建替えに伴い撤去したものである。

委員会管外視察を行いました。

実施日：平成23年7月11日～12日

調査項目：

- (1) 認知症啓発事業について（滋賀県草津市）
- (2) 発達支援システムについて（ " 湖南省 ことばの教室
- (3) ひこね元気計画21推進事業について
国民健康保険事業について（ " 彦根市）



ことばの教室を視察（湖南省発達支援センター）

委員会開催日 9月20日・21日、30日

〔審査件数 分割付託 3件、一括付託 5件、陳情 1件〕

主な審査案件

- 損害賠償の額を定めることについて
- 平成23年度飯田市一般会計補正予算（第4号）（第5号）案
 【（第4号）市田柿ブランド推進プロジェクト事業費 320万円、
 社会資本整備総合交付金事業費（天龍峡地区） 1,126万円】
 【（第5号）林道災害復旧事業費 1,375万円】
- 平成22年度飯田市一般会計歳出歳入決算認定について
- 平成22年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成22年度飯田市上村しらびそ高原観光事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成22年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について



**農産物の地域ブランドをいかに
確立するか**

審査の概要

■ 損害賠償の額を定めることについて

林道における事故等について

Q 林道における事故においては、気象条件の影響はあるか。また、その場合通行規制を行うか。危険箇所を把握しているか。

A 風雨により浮石の落下や倒木があり、雨量が多い場合は事前に通行規制を行う。通常の降雨等に伴う落石箇所は把握しており、地元や利用者等の情報を基に順次改良を行っている。

■ 平成23年度一般会計補正予算
（第4号）

ブランド推進事業費について

Q 市田柿ブランド推進プロジェクト事業の、生産実態調査の目的は何か。

A ブランド推進協議会及び生産地の町村と連携し、生産者を対象に調査を実施する。今後の生産量の確保につなげ、ブランド確立の手がかりとする。

地域特産品ブランド化事業費について

Q 南信州茶ブランド戦略調査を工業振興で取り組み理由は何か。

A 加工の観点から調査を行うこととした。農業部門とも連携して推進していく。

■ 平成22年度一般会計歳入歳出決算
認定審査

労働費について

Q 緊急雇用奨励補助金により雇用された新卒者について、離職の状況はどうか。

A 採用1年未満の離職率は、全国平均17.1%に対し、補助対象企業からの報告から、市においては13.5%であり、一定の成果があった。

農林水産業費について

Q 地域農産物等の海外輸出チャレンジ事業の、海外のフェアの取り組みと市の役割は。

A 市の役割は輸出・販売ルートの情報収集や商談支援などであり、輸出にあたり中間業者をできるだけ省き、生産者の利益率を向上させている。

Q 竹活用プロジェクト事業の効果はどうか。

A 竹を粉末化し乳酸処理後、飼料に混ぜて与えた子豚の死亡率が減っている。竹林整備事業の継続は、23年度までの結果を検証し結論を出していく。

商工費について

Q 天龍峡整備事業は、天龍峡活性化計画に沿って進捗しているか。

A 27年度の天龍峡大橋の完成を見据えて、計画に沿って事業を進めている。

Q 産業用地整備事業について、今後の見通しはどうか。

A 企業からの引き合いもあり、活用できる用地は少なくなっている。23年度中に候補地を選定し、企業の要望に対応できる体制を整えていく。

委員会管外視察を行いました。

実施日：平成23年7月5日～7日

調査項目：

- (1) 買い物弱者支援について（青森県八戸市）
- (2) 企業誘致の取り組みについて（ " ）
- (3) 立地企業の現状について（ " ）
- (4) 観光行政の取り組みについて（岩手県平泉町）



立地企業を視察（八戸市）

委員会開催日 9月22日、30日〔審査件数 分割付託 3件、一括付託 12件〕

主な審査案件

- 損害賠償の額を定めることについて
- 平成23年度飯田市一般会計補正予算（第4号）（第5号）案
【（第4号）地球温暖化対策推進事業費 4,500万円、公園整備事業費（補助）3,155万円 等】
【（第5号）道路災害復旧事業費 7,532万円 等】
- 平成23年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案
- 平成23年度飯田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案
- 平成22年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成22年度下水道事業特別会計、墓地事業特別会計、簡易水道事業特別会計の各会計歳入歳出決算認定について
- 平成22年度飯田市水道事業決算認定について



環境問題に高い関心 太陽光・小水力発電の質問も

審査の概要

■ 損害賠償の額を定めることについて

Q 道路管理の瑕疵による損害について
Q 道路の補修等に関して、市民からの情報提供はあるか。

A まちづくり委員会へは情報提供をお願いしている。ホームページ等でも情報提供を呼びかけており、休日・夜間を問わず、対応できる体制である。

■ 平成23年度一般会計補正予算（第4号）

Q 地球温暖化対策推進事業費について
Q 住宅用太陽光発電施設設置世帯数の目標は。

A 全世帯の1割を目標にしている。現状のシステムでは配電に限りがあり、急激に増やすことができない状況だが、目標が達成できるように取り組んでいく。

■ 公園整備事業費について

Q 公園整備事業費に関し、どの公園を対象にしているのか。
A 県の安心こども基金の活用を予定しており、児童遊園等（32箇所）の老朽化した遊具の修繕等を優先的に行いたい。

■ 平成22年度一般会計歳入歳出決算認定審査

■ 環境衛生費について

Q ごみ集積所管理事業に関し、ごみ集積所に屋根を設置する場合、補助はあるか。高齢化に伴うごみ集積所の考えは。

A 屋根設置には対象となる補助金はない。かえって、不法投棄の場所になる可能性もあり、検討していく。設置場所の変更等は地元の意見が整えば対応していく。

■ 環境保全費について

Q 新エネルギー推進リーディング事業に関し、小水力調査の結果とその後取り組みはどうか。

A 小沢川の可能性については、通年の流量調査ができなかったため実施する状況には至っていない。今後、地元まちづくり委員会の研究会と共同して研究していく。南原地区は、農業用水の水利権の問題があり、時間をかけて研究していく。

【要望】

小水力については、課題はあるが小規模化による分散型エネルギーを目指してもらいたい。

■ 土木総務費について

Q 日本風景街道登録・整備推進事業に関し、上村・南信濃地区を登録してその後どのように推進していくか。
A 情報の発信が主な事業で、国交省のホームページに掲載されている。具体的な整備等については、建設部と産業経済部の両方で協議していく。

委員会管外視察を行いました。

実施日: 平成23年7月14日～15日

調査項目:

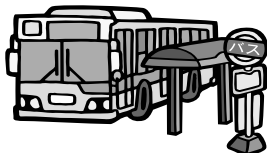
- (1) 景観形成と協働のまちづくり（近江八幡市）
- (2) 地球温暖化対策条例と京（みやこ）のアジェンダ21の取り組みについて（京都市）
- (3) 災害復興による公共住宅とまちづくりの取り組み等について（神戸市）
- (4) 庁舎におけるESCO事業と省エネの取り組みについて（池田市）



温暖化対策の状況を視察（京都市）

一般会計補正予算の主な内容

- 住宅用太陽光発電施設設置補助 4,500万円
- 市街地整備 2,155万円
- 市民バス増便実証運行 111万円
- 道路災害復旧事業費
1億5千万円余



一般会計補正予算案を可決
総額4億円余

今定例会では再生可能エネルギー推進事業費、社会資本整備総合交付金事業など補正4号案と台風12号に伴う災害復旧費など5号案が上程され所管の委員会での慎重な審査を経て本会議で可決されました。

請願陳情審査結果(受付順)

請 願 内 容	請 願 者	結 果
国に対し、地方財政の充実・強化を求める意見書を提出願いたい	飯田市大久保町 飯田市職員労働組合 執行委員長 後藤 武志	採 択
陳 情 内 容	陳 情 者	結 果
市に対し、飯田高原保健休養地沢城湖一帯の紛争問題について、早期解決を図るよう働きかけを願いたい	飯田市中村 久保田 八尋	不採択
国に対し、学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書を提出願いたい	飯田市鼎一色 ひまわりグループ代表 奥村 愛子	採 択

可決した意見書(議案順)

地方財政の充実・強化を求める意見書

学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書



飯田市議会への請願・陳情の手続きについて

行政に対する要望などがある場合は、請願・陳情の形で、国や県、市などに提出することができます。本市の議員の紹介があるものを請願、議員の紹介のないものを陳情として区分していますが、いずれも委員会で審査し、本会議で採択または不採択の決定をします。

採択となったもので、市行政で対応すべき事柄については、市長に内容を知り、処理の経過及び結果の報告を受けることとなっています。国や県などに意見書の提出を求めるものは、本市議会での趣旨に添った意見書を議決し、関係機関に提出します。

■ 提出方法など詳細は、飯田市議会事務局までお問い合わせください。 電話 22 - 4523



庁舎建設特別委員会

(8月3日、26日、9月28日開催)

■ 委員会の内容・質疑

9月28日委員会

橋南地域協議会での協議状況の報告と「庁舎整備基本設計」及び「市の窓口サービスに関する基本的な考え方」について市側から説明があり、基本設計を完了し、実施設計にかかりたいとの発言がありました。協議の結果、「庁舎整備基本設計」について委員会として確認することとし、窓口サービスについては引き続き協議を進めていくこととなりました。

庁舎整備基本設計について

Q 各課の占有面積は、現在と比較してどうか。

A 執務スペースにおいては福祉関係部署の増加があるが、各部署の執務部分は現状を基本に考えている。

Q 総合案内を置くとのことだが、市民への対応はどのようになるか。

A 総合案内所での対応に加え、案内人がフロアーを動きつつ市民を案内し、必要な手続き等をサポートできるようにする。

庁舎整備基本設計を完了し、実施設計へ

議会制度検討委員会を立ち上げました

市議会では、より民意が反映される議会をめざし、9月下旬に「議会制度検討委員会」(清水可晴委員長)を立ち上げました。この検討会では、議会活動を市民に見えるようにするための実現方を検討し、平成24年3月までに「議会運営ビジョン」としてまとめていくこととしています。

市議会では、昨年から「自治基本条例」について「議会の役割」の点から、グループに分かれて検証作業を行っており、議会活動の課題やめざすべき方向について一定のとりまとめができたことを受け、同検討委員会を設置し、引き続き議会改革に向けた取り組みを進めていく予定です。

これまでの検討経緯

H23.1月 自治基本条例検証会議スタート
(この間4回のグループ検討会と2回の全体会を開催)
4月 自治基本条例検証全体会議
検証の中間とりまとめ
8月 自治基本条例検証全体会議
これまでの検討報告
9月 議会制度検討委員会立ち上げ

自治基本条例検証会議

リーダー・サブリーダー会議

- ・検討結果をグループ検討会議及び全体会へ報告
- ・多数意見、少数意見を併記した報告書を作成

・グループ
・全体会
検討会議

今後の主な検討項目

- ・市民との対話の場の創設
- ・市民益につながる政策提言
- ・常任委員会での調査研究と政策立案
- ・議案への賛否の公開
- ・請願、陳情者の説明機会
- ・議員政治倫理条例の研究



リーダー・サブリーダー会議による検討

議会制度検討委員会

- ・報告書に基づき、検証結果の実現を図るための検討を行い、議会運営ビジョンを市民に提示
- ・具体的に実現するための受け皿づくりを検討

市民に見える議会活動の実現へ

各会派政務調査報告(平成23年度前期分)

政務調査とは.....市議会各会派等では、政務調査費を活用して調査研究活動を行い今後の政策の立案、提言に活かし、ひいては市民益につなげていくことを目的に政務調査を実施しています。

各会派による政務調査の概要

日本共産党、公明党は後期に実施予定です。

会派のぞみ	会派みらい
■ 7月28日 上田市、佐久市他 ・小中一貫教育等 ・小諸市自治基本条例 ・外国人の山林(水資源)購入対応	■ 7月27日～29日 陸前高田市、花巻市他 ・有事における議会の在り方 ・議会改革のあらたな視点 ・バイオecoエネルギー調査
市民パワー	無会派
■ 7月27日～29日 熊本市、鹿屋市他 ・健軍商店街のらくらくお買い物システム ・山鹿市バイオマスセンター ・補助金に頼らぬ地域再生	■ 5月19日 国分寺市 ・第7回議員の学校 「大震災と地方自治体の災害政策」

傍聴席

今回は9月に委員会の傍聴に来られた中央大学の江藤ゼミの学生の声を紹介します。



□ 委員会を傍聴して

初めて傍聴したのですが、形式的な審議にとどまることなく、疑問に思ったことは質疑、発言していました。議会に対するイメージが良くなりました。

(女性)

執行部側に多少もたつきが見られ、本当に事前通告なしの議論であることを実感した。

(男性)

議員の方は質問したことや要望したことについて、追跡調査をしているのが気になりました。(男性) 政策決定に重要な議論は委員会で行われているように感じました。

(男性)

議員コーナー (議席順に掲載)

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。



～ 映画と人の縁 ～ 中島武津雄

8月15日自分の時間が持てたので7月16日公開の映画「大鹿村騒動記」を見た。この映画は大鹿村を舞台に300年の伝統を持つ大鹿歌舞伎を演ずる村人達が主人公。全編大鹿村の魅力を余すことなく映し出し、歌舞伎公演も実際の公演も随所に取り入れられており、見覚えのある顔をスクリーンの中で見つけて思わず……ん？

スクリーンでは公開3日後に亡くなった原田芳雄さんが迫真の演技で観客に迫ってくる。

この中で映画音楽を担当したのが飯田市出身の作曲家安川午朗さん。TV情熱大陸メインテーマも彼の作曲。1965年生まれ46歳、飯田市出身者が関わってくれたことが「大鹿村騒動記」を一層身近に感じてとても誇らしかった。そういえば映画カメラマンの長沼六男さんも飯田市上久堅の出身で、映画「隠し剣鬼の爪」で大平宿を「母べえ」で山本杵原校舎、松尾公民館旧講堂を使って撮影してくれた。

共に大事にしたいご縁です。



～ 実りの秋 ～ 上澤義一

飯田下伊那の田畑が光輝いて見える実りの秋を迎えた。1年間の努力が結実する収穫の秋である。

私の畑の作物も収穫の時期を迎えた。その中で初めて取り組んだ「そば」も白い花から黒色化し始めてきた。

70～80%の子実が褐変したところが刈取りの適期と言われ、収穫の準備をと思っている。最近は健康食ブームもあってか、「そば」の栽培や「そば打ち」を始める人が多くなってきたように思う。

「そば」は古来、主食として用いられたこともあるようだ。「そば」は消化も良く、動脈硬化や高血圧を抑え、また、他国では緑内障や糖尿病などの薬餌療法にも利用されていると聞く。

私の場合は「そば」そのものを食すこと、「そば」を愛好する仲間との交流が目的であるが、ついには自分で「そば」を栽培するところまでできてしまった。

議会傍聴におこしください

飯田市議会では、どなたでも本会議を自由に傍聴いただくことができます。また小中学校等の見学も受け付けています。(お席に限りがありますので、団体でお越しになる場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。)

議会本会議の中継を行っています。

飯田ケーブルテレビデジタル714ch及びオフトーク通信「ホットラインIIDA」で中継します。

ご意見をお寄せください

「市議会だより」では、議会の活動状況をわかりやすくお伝えするよう努めてまいります。今後の編集に役立てたいと思いますので、ご意見、ご感想などをお寄せください。

「市議会だより」のバックナンバーを飯田市公式サイトに掲載しています。

URL <http://www.city.iida.lg.jp/>

〒395-8501 (住所記載不要)

飯田市議会事務局

☎0265-22-4523(直通) Fax 0265-53-8821

E-mail: igikai@city.iida.nagano.jp

議会の動き(予定)

- 第4回定例会(会期11月30日～12月22日)
- | | |
|--------------|---------------------|
| 代表質問/一般質問 | 12月8日(木)9日(金)12日(月) |
| 委員会 | |
| 総務文教委員会 | 12月13日(火) |
| 社会委員会 | 12月14日(水) |
| 産業経済委員会 | 12月15日(木) |
| 建設環境委員会 | 12月16日(金) |
| 庁舎建設特別委員会 | 11月28日(月)12月20日(火) |
| リニア推進対策特別委員会 | 11月28日(月)12月20日(火) |
- 請願・陳情の〆切: 11月22日(火)午後5時